



アジア ビジネス スタディ ツアー

アジアのありようと、日本のつながりを体感し、自身の将来を考えるきっかけに!



Asia Business Study Tour

姉妹校連携プログラム ベトナム経済法科大学 × 東京都立千早高等学校

2017年、夏。本校が姉妹校として提携している国立ベトナム経済法科大学が研修企画した「アジアビジネススタディツアー」が実施されました。このスタディツアーは、英語による豊かなコミュニケーション能力を身に付けるとともに、異文化への理解を深め、他者を尊敬する人権尊重の精神を育み、将来、国際社会の様々な分野において活躍できるグローバル・リーダーを育成することを目的としています。本校は、この「アジアビジネススタディツアー」を活用して、国際交流の一層の促進を図るとともに、英語によるコミュニケーション能力の向上、様々な手法を活用できる問題解決能力や情報を発信する幅広い教養を身に付けたグローバルリテラシー（国際対話能力）の育成を図りたいと考えています。



グエンフェ通りホーチミン像

「アジアビジネススタディツアー」では、国立ベトナム経済法科大学内において、現地起業家および大学教授をファシリテーターとしたPBL（Project Based Learning）型によるビジネス研修を実施します。PBLとは、少人数グループによる問題発見解決型（事例解決型、事業課題解決型）の学習方法であり、与えられたミッションに対して、現地大学生と英語による実践的なコミュニケーションを取りながら、協働・協力しあい、市場調査からプレゼンテーションに至る一連のマーケティング活動をチームで実践する内容となっています。

●具体的な取り組み

- ①現地マーケットでの市場調査（ベントイン市場・コープマート・現地マーケット）
- ②大型ショッピングモールでのベトナム人を対象としたインタビュー調査。
(イオンベトナム タンフーセラドン)
- ③日系企業の海外進出現場を視察し、製品・価格・販路を模索。
- ④現地大学生とのブレスト、ディスカッション、協働活動。
- ⑤チームプランのプレゼンテーションをおこないベストプラクティスを発表。

これからのグローバル社会において、日本は、政治、経済、学術、文化など様々な分野で、アジア諸国との関係がますます強くなっていくといわれています。そのような社会で成功するには、現地に飛び込み、その国（土地）の文化や特性を理解し、そこで暮らす人たちと一緒に価値を作り出すことが重要であると考えています。その際に必要とされるのが、多用な価値感をもつ人たちとコミュニケーションする力やチャレンジする精神です。「アジアビジネススタディツアー」では、現地大学生との協働作業を通じて、実践的な英語によるコミュニケーションを図り、自然な表現で自分の考えや意見を発信できるように経験を重ねます。国際交流を通じて異文化への理解を深め、社会貢献の精神を育むことを目標としています。また、PBL型ビジネス研修を通じて、東南アジアの経済成長の熱気を感じさせることで、将来の日本経済とアジア経



サイゴン大教会

済との関連性を考えさせ、日本のあり方、ビジネスのあり方を模索させ、起業家精神を育むことができると考えています。

● 2017 アジアビジネススタディツアー 概要

研修期間：平成 29 年 8 月 20 日 (日) から 8 月 26 日 (土) まで【5 泊 7 日】

研修先：ベトナム社会主義国 ホーチミン市内およびドンナイ学園都市

姉妹校：国立ベトナム経済法科大学 HCMC

参加生徒：3 年生 5 名 2 年生 9 名

月日 (曜)	地名	スケジュール
8/20 (日)	成田空港発 ホーチミン着	空路 ベトナムホーチミンへ ホーチミン市内見学 サイゴンホテル着
8/21 (月)	ホーチミン ドンナイ学園都市	ベトナム経済法科大学 セレモニー ドンナイ学園都市 販売戦略・ビジネスカード制作
8/22 (火)	ホーチミン ドンナイ学園都市	ホーチミン市内マーケット視察 (ベントイン市場) イオンモール市場調査・資材調達
8/23 (水)	ホーチミン ドンナイ学園都市	ドンナイ学園都市 Cool Japan Event の準備
8/24 (木)	ホーチミン ドンナイ学園都市	ドンナイ学園都市 Cool Japan Event の開催 販売活動・販促活動 現地学生との交流
8/25 (金)	ホーチミン ドンナイ学園都市	ドンナイ学園都市 Cool Japan Event の振り返り 収支計算・プレゼンテーション・終了セレモニー
8/26 (土)	ホーチミン発 成田空港着	空路 成田空港へ 入国・通関・解散

■ 8 月 20 日 (日) - 1 日目 移動およびホーチミン市内見学

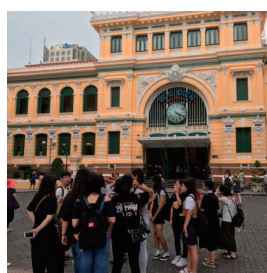
昨年の夏からスタートしたベトナムビジネススタディツアー!今年で 2 回目!ようやく軌道に乗り本格的な活動実施となりました!! 20 日早朝、成田空港からベトナムタンソンニャット国際空港まで 6 時間のフライトを終え、この日は移動のみの一日でした。現地空港からホテルまでの車窓からは、混雑した交通状況やフラ



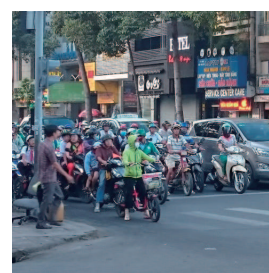
タンソンニャット空港着



気温 32℃ 湿度 75%



サイゴン中央郵便局



ホーチミン市内

ンス様式の建物などを見ることができました。夕方のホーチミン市内観光では、フランス様式の建造物「サイゴン郵便局」や「サイゴン大教会」をめぐり、ベトナム戦争の惨劇を展示してある「戦争証跡博物館」を見学し、ベトナムの歴史を学びました。

■ 8月21日（月）－ 2日目 ベトナム経済法科大学セレモニーおよびビジネスプランの構築

姉妹校提携のベトナム経済法科大学にて、ビジネススタディツアーの活動がスタートしました。本校生徒が同学生の熱烈な歓迎を受け、両校代表の挨拶、ベトナム文化のプレゼンテーション、施設見学等を行い、学生および留学生との交流の機会をいただき、貴重な時間を過ごすことができました。起業家「NGUYEN BA QUOC 氏」によるベトナムビジネスの現状やベトナム人のニーズなどについての講義を受け、学生とのグループングをおこない、活動内容の話し合い、ビジネスカードの制作、販売戦略の打合せ等を行いました。現地学生との交流は、英語によるコミュニケーションが必要なため、これまでの学校での学習の成果を発揮できたように感じました。参加した生徒たちも、積極的に！主体的に行動しており、現地学生と積極的にコミュニケーションを取っていました。



学生との交流



経済法科大学 施設視察



日本語を学ぶ学生との交流



起業家よりプログラム説明

■ 8月22日（火）－ 3日目 現地マーケット視察および市場調査・価格調査

22日午前は、現地マーケットでの市場調査として、ベンタインマーケットで価格調査・接客の状況などの調査活動を行いました。このマーケットは観光客用のマーケットとして、ホーチミン市内では認識されています。米や野菜、肉類、魚貝類などあらゆる食材がベトナムスタイルで販売していました!! また、午後には、ベトナム国内で成功を収めている日系企業の一つ、イオンモールでの市場調査、日本食レストランなどの現状分析などの活動を行い、イベントで使用する資材・原材料の購入も行いました。今回、6万人が居住している学園都市のドミトリーエリアで「たこ焼き」、「牛丼」、「焼きそば」をアレンジして販売活動も行います。食材の調達も自分たちで行い、大学生たちと味覚・レシピなどを相談しました。何より、いかにコストを抑え、収益を上げるかについて戦略を練り、意見を戦わせる姿が頼もしく見えてきました!! コミュニケーション能力の大切さを実感できる場面でした!! 文化の違い、生活観の違いに触れることができ、大変貴重な経験になったことと思います。



ベンタイン市場



ベトナムスタイル



資材調達の様子

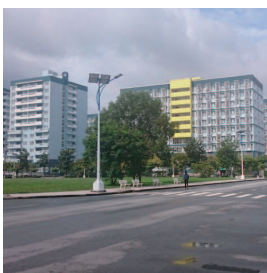


戦略会議

■ 8月23日（水）－ 4日目 「Cool Japan Event」 準備およびデモ販売

23日、ドンナイ学園都市の中央に位置するドミトリー施設（国際交流センター）にて、大学生と共に明日開催する「Cool Japan Event」の準備を行いました。学園都市内のドミトリー施設には、現在6万人の学生が生活しており、3グループに別れた本校生徒たちは、たこ焼き、焼きそば、牛丼の製造・販売をおこないます!! 収支計算を行い、営業利益を競っているため、利益率を上げるため、あの手この手で頑張っていました!! (笑) 英語によるコミュニケーションもより積極的になってきました!!

今年度は、「スモールビジネス」をテーマとして、事前指導では日本国内での開店にかかる費用計算や原価率の講義を受け、今回のイベントに臨んでいます。生徒たちは可動式の店舗の制作、看板等の制作、メニューの制作などを行い、コストを意識しながら、営業利益の獲得を目指して活動していました。販売促進活動についても、英語によるコミュニケーションを手段としなければならず苦戦している様子も見受けられましたが、愉しんでやっている様子が伝わってきました。



学園都市ドミトリー



準備の様子



ボランティア学生との交流



夢中に作業中

■ 8月24日（木）－ 5日目 「Cool Japan Event」 開催 販売実習

24日、学園都市内での販売活動がいよいよスタートしました。ベトナムの学生たちに受け入れられるか、昨日の準備・デモ販売を通して見つかった問題点・課題点を修正し、販売方法、広告方法、調理方法と様々な視点から戦略を考えて、夢中になって活動していました。販売価格も原価率を考えるとともに、現地生活水準を踏まえた価格設定を行い、物価の安さを改めて実感したようです。販売促進の観点では、生徒が呼び込みを行い、勇気を持って自ら進んで、コミュニケーションを取ろうと多くの学生に話しかけていました。英語のみならずベトナム語も多用しながら活動している生徒たちを見ていて、とてもたくましく感じ、今後の活躍を期待したいです!改めて今回のスタディツアーの効果を確信する場面であったように感じます。



チリソース味の焼きそば



人気のたこ焼き



浴衣での販売活動



行列も出ていました

■ 8月25日（金）－ 6日目 報告会（プレゼンテーション）および修了セレモニー

20日から始まったアジアビジネススタディツアーも最終日を迎えました!! ドンナイ学園都市国際交流センターにて、前日に実施した「Cool Japan Event」のコスト計算・売上計算・収支計算などを行い、報告会の

準備から始まりました。今回のテーマである「スモールビジネス」では、ただ単に異国での販売体験をするだけでなく、コスト意識を持ち、日本とベトナムでの原材料に掛かる費用の違いや、起業にあたっての諸条件の違いを学ぶことも目的としています。その後、各グループで収支計算を確定させ、プレゼンテーションの内容確認、英語への翻訳を行い、①販売活動の内容 ②苦勞した点・課題点 ③2日間の収支報告の三点を中心に、英語によるプレゼンテーションを実施しました。英文を調べながら原稿を作成しており、今後の課題として英語力の強化が求められると感じました。

今回のスタディツアー全般を通して、市場調査、価格調査、英語によるグループワーク、異国での販売体験、英語による報告会（プレゼンテーション）などの活動が生徒の成長、将来の自己実現へと結びつくことを期待しています。



起業家 Mr.Quoc による講義



報告会の様子



終了証授与



終了セレモニー

